

(別紙)

厚生労働省の業務改善事例

(平成23年1月第3週までの報告分)

○改善事例1

「年金支払額の証明書」にかかる(独)福祉医療機構のホームページへの掲載

【改善点】

金融機関等の口座振込で年金のお受け取りをされている年金受給者の方に対しては、日本年金機構から「年金振込通知書」が送付されますが、(独)福祉医療機構が実施している年金担保貸付制度を利用している方に対しては、この振込通知書は送付されません。

年金担保貸付制度を利用している方であって、年金支払額の証明書を希望される方に対しては、日本年金機構において、振込通知書とは別の様式で証明書を作成し、お送りしており、このことについて、幅広い周知を図る観点から、日本年金機構のホームページだけではなく、(独)福祉医療機構のホームページに追加しました。(平成22年12月27日掲載)

※ (独)福祉医療機構ホームページ(年金担保貸付Q&A)については、以下を御参照下さい。

<http://hp.wam.go.jp/guide/nenkin/qanda/tabid/252/Default.aspx>

(照会先)

年金局総務課業務管理係(内線3347)

○改善事例 2

地域福祉計画の優良事例の紹介

【改善点】

「地域福祉計画」は、各自治体が、その地域における福祉サービスの推進等について、地域住民の皆様の意見を十分に反映させながら策定する計画であり、今後の地域福祉を総合的に推進する上で大きな柱になるものと考えています。

地域福祉計画の未策定自治体の策定を支援することを目的として、平成 22 年 8 月に行った計画の策定状況等に関する調査結果と各自治体の計画書を参照して、優良事例を選定し、厚生労働省ホームページに掲載しました。

今後とも、各自治体の取組について情報共有を行うこと等により、地域福祉を推進していきたいと考えています。

(参考) 地域福祉計画優良事例 (平成 22 年 12 月 28 日現在)

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/syakai/c-fukushi/keikaku/jirei1.html>

(照会先)

社会・援護局地域福祉課地域福祉係 (内線 2859)

○改善事例 3

先進医療の実施医療機関一覧と各技術の概要の更新

【改善点】

「先進医療」とは、高度の医療技術を用いた療養等の一定の療養であり、国民の安全性を確保し、患者負担の増大を防止するといった観点も踏まえつつ、国民の選択肢を拡げ、利便性を向上するという観点から、保険診療との併用を認めているものです。医療技術ごとに設定している施設基準を満たし、届出を行った保険医療機関について、保険診療との併用が認められています。

この先進医療の実施医療機関の一覧と、各技術の概要を、平成 23 年 1 月 1 日時点のものに更新しました。

(参考) 先進医療を実施している医療機関の一覧等

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryu/kan.html>

(照会先)

保険局医療課医療係 (内線 3276)

○今週の現場訪問・意見交換

安全優良職長厚生労働大臣顕彰式典の開催

【概要】

「安全優良職長厚生労働大臣顕彰」制度は、労働災害による被災者数が年間約 48 万人（平成 21 年度）に上る中、高い安全意識を持って適切な安全指導を実践してきた優秀な職長（※）を顕彰することにより、その職長を中心とした事業場や地域における安全活動の活性化を図ることを目的としています。

平成 22 年度は、134 名（製造業 42 名、電気・ガス業 3 名、建設業 80 名、運輸交通業 3 名、貨物取扱業 1 名、林業 1 名、ビルメンテナンス業 2 名、産業廃棄物処理業 1 名、警備業 1 名）の方を「安全優良職長」として顕彰することとし、1 月 13 日に、顕彰式典を開催しました。

今後も職長の活動の活性化を図り、事業場や地域における安全活動を進めてまいります。

※ 「職長」とは、事業場で部下の作業員を直接指揮監督し、作業の安全確保・遂行に責任を持つ第一線の監督者のこと。班長、作業長などとも呼ばれ、「安全のキーパーソン」と言われる。

（照会先）

労働基準局安全課建設安全対策室指導係（内線 5489）

（注）この資料は、厚生労働省内の各部局において実施した業務改善事例や実態把握のための取組の中から、主なものを抜粋し、取りまとめたものです。